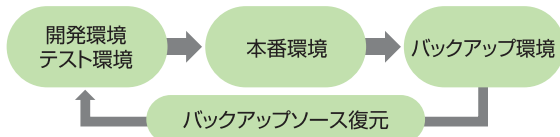


プログラム開発から本番移行までを  
一元管理する内部統制対応ツール



開発メンバー管理	自動本番移行	自動バックアップ	移行実績管理	変更リソース管理	リカバリー
----------	--------	----------	--------	----------	-------

**特徴とメリット**

- 開発環境/本番環境を完全に分離
- 自動移行処理によるリリース漏れを防止
- 変更管理による内部統制強化・J-SOX対策
- ログ管理や各レポート出力による監査対策
- 自動ソースバックアップによるリスクヘッジ

プロジェクト  
管理ツール  
**SDM/PRJ**

3つのツールの連携により  
システム開発から  
運用管理・保守まで  
二元管理を実現

ソフトウェア  
開発・管理をもっと  
スマートに  
しませんか

安全!  
便利!  
効率!

**IBM i 対応**

プロジェクト管理  
シンプルな資産管理  
開発保守



ソフトウェア  
資産管理ツール  
**SDM/OBJ**

豊富な導入実績  
純国産ツールならではの  
きめ細やかなソリューション

アプリケーション  
開発保守支援ツール  
**SS/Tool-II**

ソフトウェア資源の状態を  
リアルタイムに解析・処理する管理ツール

**特徴とメリット**

- オブジェクトとソースの整合性チェック
- リコンパイルなしで整合化などの各種処理
- ライブラリー使用状況を即座に確認
- 各レポート出力による日々の運用管理

「あったら便利!」を実現した  
各種機能満載の開発保守支援ツール

**特徴とメリット**

- 実稼働しているオブジェクト情報からリアルな各種ドキュメントを作成
- データ処理など開発支援機能を豊富に搭載
- オンライン処理による操作性でシステム開発を効率化



株式会社 アイエステクノポート

〒108-0014 東京都港区芝5-1-13 ミツ輪三田ビル 9F  
TEL.03-5765-2501 FAX.03-5765-2506

<http://www.istechnoport.co.jp> [solution@istechnoport.co.jp](mailto:solution@istechnoport.co.jp)



# SOX法の鍵は 情報の文書化、ログ、監査の記録、適切なプロセスの確立

日本版SOX法は情報システム部門に大きな影響を及ぼすと言われていています。それは、この法律を遵守するために、これまでのシステム部門や開発会社の仕事のプロセスを大きく変更しなければならない可能性があるためです。SOX法対策で、このようなことでお悩みではありませんか？

- ・不正防止のため開発担当者と運用管理者を分ける必要がある。
- ・プログラム変更のリクエストは正式な変更管理手続きに従う必要がある。
- ・プログラムの本番への移行は権限を与えられた者のみに制限する必要がある。
- ・アプリケーションの修整履歴を残す必要がある。

## S/D Manager

プロジェクト管理ツール

IBM Power Systems “ IBM i ”

# SDM/PRJ

Built on



S/D Managerシリーズは、  
Built on IBM Express Advantage  
認定ソリューションです。

日本版SOX法の「IT全般統制」におけるソフトウェア開発の「プログラム開発」「プログラム変更」の領域も支援する事が可能な国産開発の導入実績が豊富な開発・運用管理ツールです。

- システム開発・保守業務のプロセス管理と運用支援を行います。
- システム開発・保守業務のプロセスを発生源からプロダクト登録までを一元管理し、要所で管理ドキュメントを作成可能です。
- 開発・保守業務のログや、プロダクト登録のログ管理を行います。
- 最も重要なプロダクト登録処理を自動化、原始ソースの履歴管理やオブジェクト権限の設定も自動で行うことが可能です。

### ■ 日本版SOX法とIT内部統制の関係図

企業として行う内部統制	IT内部統制	
全社的な内部統制	IT統制環境	IT全体に対しての戦略、方針、運営にかかわる統制活動
業務プロセスにかかわる内部統制	IT業務処理統制	業務プロセスの一部として業務アプリケーションに組み込まれた統制活動
	<b>IT全般統制</b>	アプリケーション統制が正しいことを補完する活動。以下の4つの領域 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム開発</li> <li>・プログラム変更</li> <li>・コンピュータ運用</li> <li>・プログラムとデータへのアクセス</li> </ul>



IBM Power Systems



iS Technoport



S/D Manager Series

# S/D Manager

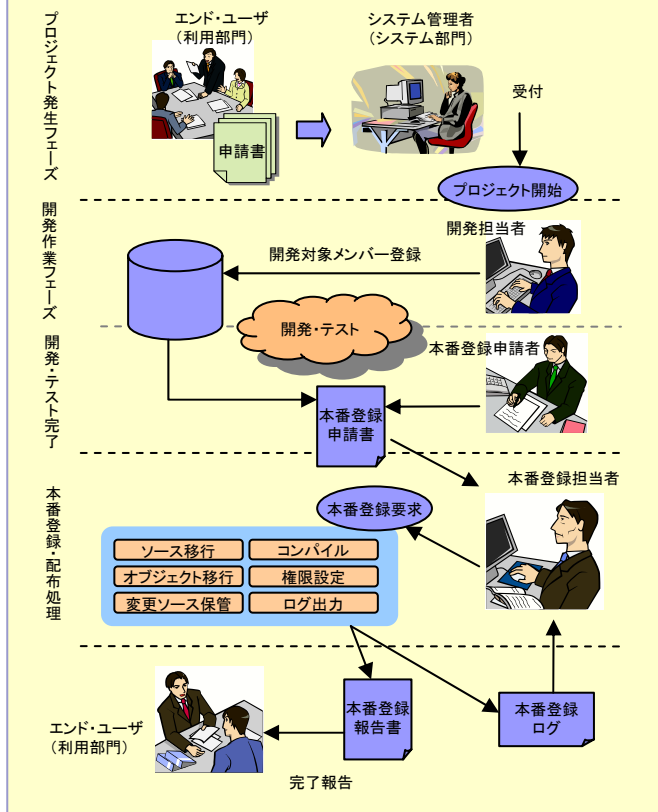
プロジェクト管理ツール

# IBM Power Systems “ IBM i ” SDM/PRJ



S/D Managerシリーズは、  
Built on IBM Express Advantage  
認定ソリューションです。

## システム開発・保守の業務プロセス



### ■主な管理帳票

- |          |               |
|----------|---------------|
| リクエスト状況表 | 開発オブジェクト登録簿   |
| 開発状況表    | 本番登録申請書       |
| 開発進捗管理表  | 本番登録結果チェックリスト |
|          | 登録結果報告書       |
|          | ログ・レポート       |

### ■リクエスト管理

エンド・ユーザー部門より依頼されたプロジェクトの情報登録および開発・本番移行状況の管理を行います。

- ・依頼部門・依頼者・依頼日・受付日・担当者・アプリケーション・予定開発期間・全体費用・外部依頼会社・外部費用等の基本情報
- ・開発状況・実開発期間・開発対象モジュール・EDP承認日・ユーザー承認日・本番登録回数・通算本番登録モジュール本数・最終登録日等の状況／実績情報

### ■本番登録処理

リクエスト管理で登録されたプロジェクトごとに、開発対象となったメンバーを登録簿に登録し、その登録簿を基に開発環境から本番環境への移行処理を下記のように自動的にを行います。

#### ●移行登録手順

- 1, 開発から本番へのソース移行
- 2, 本番環境でのコンパイル
- 3, 本番オブジェクトの権限設定
- 4, 変更メンバーの履歴管理(バックアップ)
- 5, 本番登録ログ管理

本番登録時にバックアップされたソース・メンバーを任意に復元することもできます。

本番機/バックアップ機/災害対策機/LPARなど様々なシステム環境・マシン構成への対応が可能です。

遠隔地へのリモート対応も可能です。

複数開発者による同一ソースの同時修正を防止する事が可能なチェックアウトオプション

## S/D Manager Project管理

稼動マシン: IBM Power Systems “ IBM i ”

( System i , i5, iSeries, AS/400 )

OSバージョン: Ver5.1以降推奨

'09.05月版

開発元 : 株式会社アイステクノポート  
 〒108-0014 東京都港区芝5-1-13 ミツ輪三田ビル9F  
 TEL:03-5765-2501 FAX:03-5765-2506  
 E-mail: solution@istechnoport.co.jp  
 URL : http://www.istechnoport.co.jp

